

## 令和4年 トマト黄化葉巻病の対策

### ～トマト類生産者の皆さんへ～ トマト黄化葉巻病対策のお願い

玉名管内では、トマト黄化葉巻病が発生しており、この病気が多発するとトマトの栽培に甚大な被害を与える可能性があります。(右記写真参照)

このため、トマト黄化葉巻病の撲滅を図ることを目的に、本年については、以下の2点の対策をお願いいたします。

- ①栽培終了後は、7月19日までにハウスの閉め込み(鋤き込み)を実施
- ②定植は、天井被覆フィルム、防虫ネットを設置して8月15日以降に実施

#### 【一般の家庭菜園の人へ】

一般の家庭菜園でも、トマト黄化葉巻病の発病株を放置しておくと、ほかのトマトに次々に伝染していきます。

発病株を見つけたら直ちに抜き取り、土中に埋めるか、肥料袋等に入れ、密閉して処分していただくようご協力をお願いいたします。

#### 【トマト以外の作物について】

ナス、アスパラガス、オクラ等他の作物においても、コナジラミ類の防除にご協力をお願いします。

#### ▶お問い合わせ先

玉名地域緊急病害虫防除対策会議事務局(TEL 0968-74-2193)

玉名地域振興局農業普及・振興課 野菜産地づくり支援班



### \* 農薬容器(産業廃棄物)回収のお知らせ \*

使用済み農薬空容器の  
焼却・廃棄は違法!!  
令和4年度も2回の回収を行います。

回収時間  
午前9時～午後4時

1回目 7月6日(水)  
2回目 12月1日(木)

#### 回収場所

JAたまな荒尾供給センター	JAたまな中央営農供給C	JAたまな菊水供給センター
JAたまな長洲供給センター	JAたまな横島供給センター	JAたまな南関供給センター
JAたまな岱明供給センター	JAたまな天水供給センター	JAたまな三加和供給センター
JAたまな玉名北営農供給C	JAたまな玉東供給センター	JA大浜本所

**洗浄方法**

●今回の回収はプラボトル・水和剤・粉剤の袋農薬ビン類、農薬缶(ミカール等)類、ペール缶(ハーベストオイル等)です  
●JA指定の回収袋に入れて、出す  
●プラボトルの洗浄、紙袋の残量を確認  
●プラボトルと紙袋は分別する  
●プラボトルはふたをはずし、下向きに15本程度入れる  
※風液がある容器につきまは、回収できませんので必ず洗浄し、フタをはずして出してもらいましょう。

**回収方法**  
住所・氏名・電話番号はお忘れなく

●回収袋はJA供給センターで販売中!! 1枚 110円/JA大浜は購買窓口で販売中

お問い合わせは:JA指導、JA供給センターまで  
熊本県玉名地区市町村、熊本県JAグループ

## 「滞納は許さない」 併任徴収による徴収強化

町税の滞納徴収の強化を図る目的で、県及び玉名管内3町とそれぞれ税務職員の派遣協定を締結しました。

これにより、県の税務職員と共同で町税の滞納徴収を行うとともに、玉名管内の4町では、相互に職員を派遣しあいながら、合同で搜索差押などの強化を図ります。

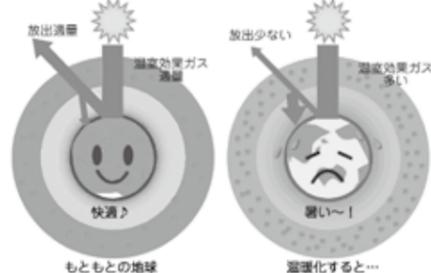


## 「くまもとゼロカーボン行動」

熊本県では、地球温暖化によるリスクを低減し、持続可能な未来を実現していくため、将来の目指すべき姿として「2050年県内CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ(ゼロカーボン)」に向けた取組みを進めています。

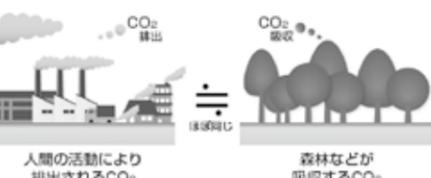
#### ◆「地球温暖化」ってなに?

太陽から降り注ぐ光が地球を暖め、地球から宇宙に放出される熱(赤外線)を大気中の温室効果ガスが吸収することで、気温が保たれています。しかし、産業革命以降、温室効果ガスが大量に排出されたことで、熱の吸収が増加し、地球の気温が上昇しています。これを「地球温暖化」と言います。



#### ◆「ゼロカーボン」ってなに?

「ゼロカーボン」とは、日常生活や事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を可能な限り削減し、それでも残るCO<sub>2</sub>を森林等により吸収して排出量を実質ゼロにすることです。



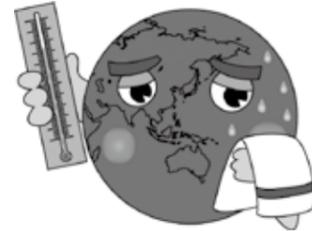
#### ◆世界や熊本は、今どうなっているの?

世界の平均気温は、1880年~2012年の間に0.85度上昇。熊本の平均気温は、100年あたり約1.7度上昇しており、そのペースは世界を上回っています。

#### ◆何もしないと未来はどうなるの?

このまま対策を行わなかった場合、21世紀末(西暦2100年)の熊本の平均気温は、20世紀末(西暦2000年)と比べて約4度上昇することが予測されています。

※20世紀末(西暦2000年)の年間平均気温 17.1度(気象庁、過去の気象データ検索より)



#### ◆「ゼロカーボン社会・くまもと」を目指して

熊本県では、2019年12月、国に先駆けて「2050年県内CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ(ゼロカーボン)」を目指すことを宣言しました。2021年7月には「第六次熊本県環境基本計画」を策定し、2030年度に向けた新たな温室効果ガス削減目標を定め、4つの戦略のもと取組みを進めています。

- 目標  
2030年度 温室効果ガス50%削減(2013年度比)  
※県の見通しを立てた削減:△40%  
国の追加施策による削減:△10%  
↓  
2050年 CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ(ゼロカーボン)

- 4つの戦略
  - ① 省エネルギーの推進  
省エネルギーを徹底し、エネルギー使用量を削減します。
  - ② エネルギーシフト  
ガソリンや灯油などの化石燃料から電気や水素等への転換を推進します。
  - ③ 電気のCO<sub>2</sub>ゼロ化  
再生可能エネルギーの導入により、発電時のCO<sub>2</sub>排出をゼロに近づけます。
  - ④ その他のCO<sub>2</sub>実質ゼロ化  
森林吸収量の確保等により、CO<sub>2</sub>の吸収・固定を推進します。

住民の皆さんで取り組んでいく具体的な行動内容については、「広報なんかん7月号」より掲載していきます。

(活動に関する詳細・お問合せ) 環境対策係 ☎57-8579